

各 位

上場会社名 ラックホールディングス株式会社  
 代表取締役社長 三柴 元  
 (コード番号 3857)  
 問合せ先責任者 取締役 経営戦略室長 岡 良貴  
 (TEL 03-5537-1400)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,480	100	△60	△240	△9.12
今回発表予想(B)	15,970	△184	△312	△471	△17.89
増減額(B-A)	△2,510	△284	△252	△231	
増減率(%)	△13.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	11,033	△78	△130	△243	△9.25

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	42,700	1,730	1,400	870	33.05
今回発表予想(B)	38,300	1,090	800	403	15.31
増減額(B-A)	△4,400	△640	△600	△467	
増減率(%)	△10.3	△37.0	△42.9	△53.7	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	32,538	905	706	240	9.12

### 修正の理由

今後のわが国経済は、雇用情勢の一層の悪化懸念に加え世界的な金融危機の影響や世界景気の下振れ懸念など、景気を下押しするリスクが存在し、先行き不透明な状況が続くものと予想され、当社グループの事業環境も依然厳しさが継続するものと予想されます。このような認識のもと、当第1四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を踏まえ、平成22年3月期の連結業績予想を以下の理由で修正いたします。

なお、個別業績予想については、変更はありません。

#### [売上高]

システムインテグレーションサービス事業は、売上高は第2四半期連結累計期間では約56億60百万円と概ね想定どおりの見通しですが、受注見込みの不足やお客様からの価格低減要請など厳しい受注環境が予想され、通期では約121億円(前回予想比約10億円の減少)となる見通しであります。

セキュリティソリューションサービス事業は、売上高は第2四半期連結累計期間ではお客様のIT投資抑制の影響から受注が伸び悩み、約20億30百万円(同約2億50百万円の減少)となる見通しであります。通期では、緊急対応サービス「サイバー119」の受注の増加が想定されますが、診断サービスなどの競争激化により、売上高は約46億90百万円(同約3億60百万円の減少)となる見通しであります。

ディーラー事業は、売上高は第2四半期連結累計期間では金融業界の収益悪化からHW/SW販売の不振からSEサービスや保守サービスの受注が伸び悩み、約82億70百万円(同約22億60百万円の減少)となる見通しであります。通期では、金融業界の収益改善が見込まれ、売上高は約215億円(同約30億円の減少)となる見通しであります。

以上により、連結売上高は第2四半期連結累計期間では159億70百万円(同25億10百万円の減少)、通期では383億円(同44億円の減少)となる見通しであります。

#### [営業利益、経常利益、当期純利益]

上記のとおり、各事業の売上見込みの減少により、第2四半期連結累計期間の営業損失は1億84百万円(前回予想は営業利益1億円)、経常損失は3億12百万円(前回予想は経常損失60百万円)、四半期純損失は4億71百万円(前回予想は四半期純損失2億40百万円)となる見通しであります。

通期では、第3四半期以降の売上回復を見込み、営業利益は10億90百万円(前回予想比6億40百万円の減少)、経常利益は8億円(前回予想比6億円の減少)、当期純利益は4億3百万円(前回予想比4億67百万円の減少)となる見通しであります。

以上